

2019年（平成31年）2月18日（月曜日）

福 島 民 報

あぶくま抄

ごつすれば
社員のやる気
を引き出せる
か。経営者は
悩む。自ら考

えて行動し、周りを幸
せにできる人になって
ほしい。福島市にあ
る「アポロガス」の篠
木雄司社長はそんな思
いを抱く。新入社員が
研修でラジオ番組の進
行役を務めたり、催し
で着ぐるみに入ったり
する▼二十代の男性社
員七人は「やさしい外
孫ブラザーズ（YS
B）」を名乗った。お
年寄りの宅に燃料などを
届けた際、困り事を尋
ねる。電球や電池の交
換、重い家具の移動…。
さまざまな頼みに無償
で応える。「外孫」の
ような存在を目指す。
普段は祖父母と離れて
暮らすのが、たまに会え
ば優しく接する▼昨年
一月に活動を始め、一
年がたつ。少しずつ相
談が寄せられるようにな
った。感謝の声も増
す。顧客との会話が弾
む。商品を売るだけで
はない。安心も届ける
サービス業の原点に気
づく。人の役に立てる
喜びを感じ、仕事に前
向きになった▼毎日の
生活に不安を感じるお
年寄りは多い。身近に
気軽に頼れる人がいな
い。「遠くの親類より
近くの他人」。若手は
ことわざを実践する。
長く続けるためにも、
無理のない活動を目標
にする。相手の気持ち
に寄り添う行動が、地
域に潤いをもたらす。